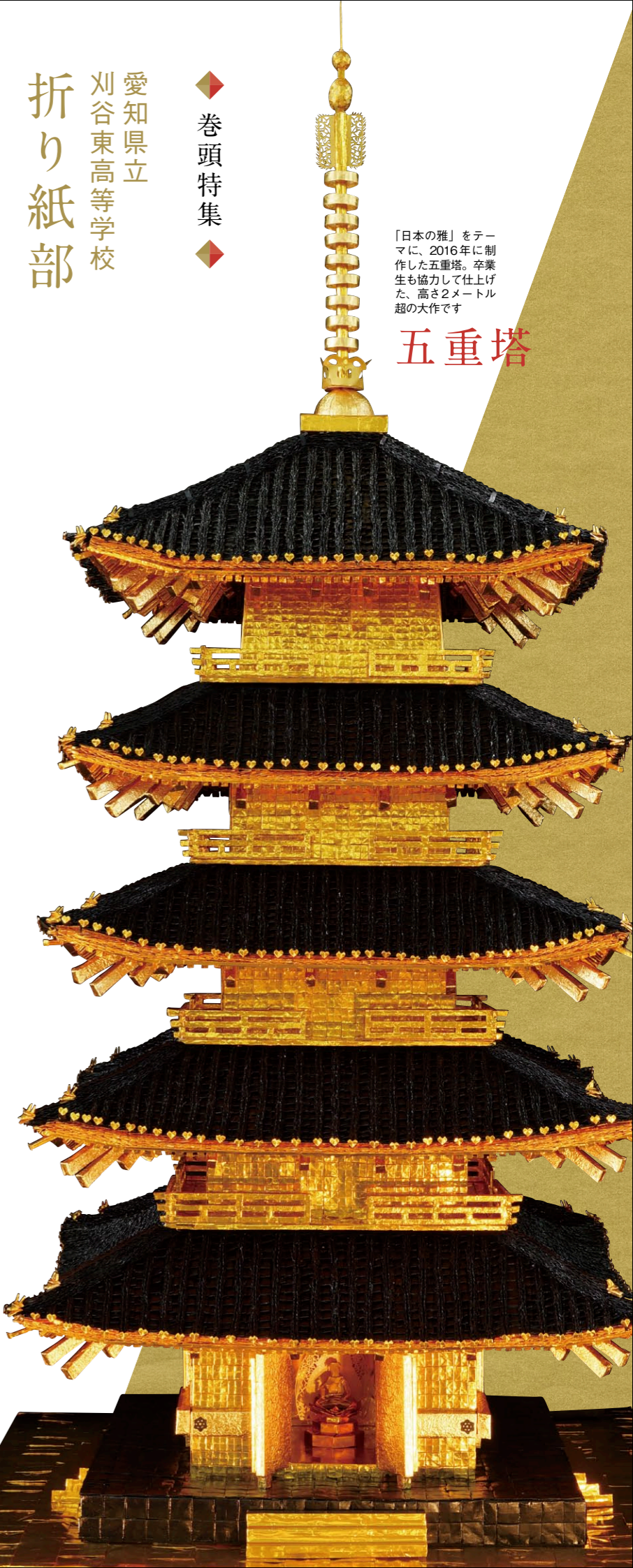


「日本の雅」をテーマに、2016年に制作した五重塔。卒業生も協力して仕上げた、高さ2メートル超の大作です

# 五重塔

◆ 巻頭特集 ◆  
愛知県立  
刈谷東高等学校  
折り紙部



# 仲間とともに、 折り紙にかける情熱

折り紙と聞くと、子どものころの遊びを思い出す人は多いでしょう。

刈谷東高校折り紙部の作品は見た人を圧倒する大きさで知られます。

一度見たら心に強く残るアートの数々は、どのようにして生まれるのでしょうか。

熱い思いを取材しました。

「紫陽花の花びらを  
私一人で一生懸命に折って  
いたら、生徒が「私も手伝う」と  
言ってくれ、予期せずそれがどん  
どん広まっていききました」と、当  
時を振り返ります。

1人で折っていた紫陽花が  
3500人を集める展示に  
京都府にある世界遺産「平等院  
の国宝「鳳凰堂」、東寺の国宝「五  
重塔」。2万枚の折り紙を使い、11  
カ月かけてつくられる作品は、子  
どものころに慣れ親しんだ折り紙  
とは一線を画します。細部まで精  
巧に作り込まれた壮大な作品を手  
がけるのは、刈谷東高校の折り紙  
部です。

「生徒たちが折り紙でつくった  
ものを集めて、何かできないか」  
と考え、「花咲かじいさん」「浦島  
太郎」「金太郎」といった昔話の  
ワンシーンを折り紙で表現。その  
作品を高校の文化祭で展示したと  
ころ、保護者から感動の声があが  
りました。2003年、西尾市の  
「二色学びの館」で、はじめての  
展示会を実施。2008年には当

作は、見る人を圧倒します。

「頭の中で思い浮かべたものを  
形にしていくのは思った以上に大  
変です。しかし、その分、完成し  
た時の達成感は大いいです」と林  
田さんは笑顔を見せます。

制作は、紙を必要なサイズに切  
るところからはじまります。パー  
ツとなる鶴やハート型を何百何千  
と折ったり、貼ったりする地道な  
作業の繰り返しです。2センチ角

の折り紙で鶴を作り上げる様子は、  
まるで職人ようです。  
「生徒たちには『いつまでも大  
事にとっておきたいくなるような、  
クオリティの高いものを残そうと  
伝えています。パーツひとつを作  
るのにも手抜きはありません』と  
熱く語ります。

折り紙部は今年、新たにゴッホ  
の3作品「一本杉」「ひまわり」「薔  
薇」と、葛飾北斎の『富士越龍図』  
の制作に挑みます。富士越龍図は  
襖ほどの大きさで、3Dボックス  
アートのように飛び出す立体作品  
を予定しています。

部員一人ひとりがコツコツと作  
業を積み重ねて完成する作品。見  
る人の気持ちを動かすのは完成度  
の高さだけではありません。折り  
紙一枚一枚に込められた、林田さ  
んと部員たちの熱い思いが伝わっ  
てくるからではないでしょうか。

「まるで折り紙が生きているよ  
う」。展示を見た人が思わず呟い  
たという感想が、まさにそれを現  
しています。折り紙表現にかける  
部員たちの情熱を、10月の展示会  
でぜひ感じて下さい。

みんなで仲良く、力を合わせて。  
適材適所でできることを一生懸命に  
するのが部のモットーです！



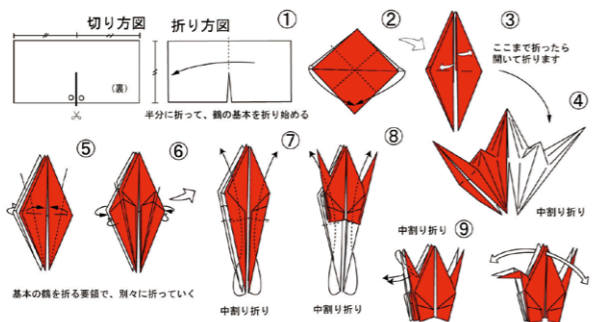
刈谷東高等学校 折り紙部顧問  
林田嘉乃さんと生徒たち

時の校長の「日本の文化である折  
り紙をもっと広めてほしい」とい  
う一声から顧問となり、部活動と  
してスタートを切りました。  
「創部当時のメンバーは10人ほ  
ど。子どもの頃から折り紙に親し  
んできた得意な子が多く、生徒が  
先生でしたね」と林田さんは笑顔  
で話します。

近年では校外活動も活発です。  
知立市図書館、刈谷市中央図書館  
の展示室で作品を披露するほか、

地域の児童センターや高齢者福祉  
施設で折り紙のワークショップを  
開くなど、ボランティア活動も盛  
ん。入学式で新入生に折り紙のパ  
ラを贈ることも恒例となり、その  
精巧さに驚き花瓶に飾ったり、折  
り紙部に入学したりする生徒もい  
ます。

2010年に刈谷市総合文化セ  
ンターがオープンすると、毎年10  
月に展示室で「刈谷東高校 折り  
紙部展示会」を開催。約3500  
人が来場するほど注目を集めてい  
ます。



「当初はハツ切の画用紙に折り  
紙を貼った平面作品を作っていま  
したが、手を動かしているうちに  
アイデアが湧いてくるんです。今  
は、鶴やハート型の折り紙を組み  
合わせていく立体作品が主流で  
す」と林田さん。京都府の「伏見  
稲荷大社」や、世界遺産や国宝の  
建造物などをジオラマのように制  
作したり、新美南吉の児童文学『ご  
んぎつね』や『牛をつないだ椿の  
木』のワンシーンを立体で再現し  
たりしています。

今夏の新作、ゴッホの『ひまわり』のパーツを制作する部員たち



作品のモチーフは建物や絵本だ  
けにはとどまりません。オリジナ  
ルのものも多数。糸でつなげた黒  
い折り鶴がゆらゆらと揺れるのを  
見て、しなやかに動く体や鱗を連  
想し生まれたドラゴンがそのひと  
つです。小さきまざまな約  
5000羽の折り鶴を使用した大

## 鳳凰堂

70×150×70cm、金色に輝く圧巻の鳳凰堂。当時  
昼間定時の生徒だった60歳の男性部員が、本物の  
設計図の蔵書がある図書館を調べ、それを30分の  
1にリサイズして土台を制作したというから驚き



Information  
刈谷東高校 折り紙部展示会

日程  
10月10日(土)~15日(木)

会場  
刈谷市総合文化センター 展示室A・B

時間 9時~18時

主催 刈谷東高校 折り紙部

☎0566-21-3327